

日本整形外科学会教育研修単位

次頁以降の講演は、日本整形外科学会教育研修単位が認められております。(各1単位)

※本学会での取得可能単位数の上限は、1日6単位、会期中合計12単位です。

※ライブ、オンデマンドなどWEBを使つての配信はございませんので、現地受講のみとなります。

※単位申込は、現地会場の参加受付で現金にてお申し込みいただけます。

【申込方法】

1. 「日本整形外科学会教育研修講演受講申込書」に必要事項をご記入の上、受講料(1セッション：1,000円)を添えてお申し込みください。
※日整会会員QRコードをお忘れの方は、教育研修講演受付にてお申し出ください。
2. 講演開始10分前から開始後10分までに、会員QRコードを講演会場入口のQRコードリーダーにかざして出席登録を行ってください。10分を過ぎた場合や手続きが完了していない場合、途中退場された場合は、単位取得はできません。
3. 学会終了から10日程度で、日整会ホームページの取得単位確認画面の単位振替システムでご自身の取得状況を確認できます。
4. 研修手帳をお持ちの方も、会員QRコードで出席確認を行うため、日整会ホームページの会員専用ページの単位取得履歴に記録が残ります。このため、受講証明印を受ける必要はありません。該当する必須分野のページに必要事項を記入し、受講証明印の欄に「会員カード」または「HP参照」と記入してください。更新時には、ホームページ上の取得履歴と照合いたします。

【ご注意】

1. 会場には講演開始後10分までに入場してください。10分後に入場されても受講単位は認められません。また途中退場される場合も受講単位は認められません。
2. 受講料は講演中止などの理由以外では払い戻しいたしません。また受講取り消し・変更の手続きや領収書の再発行はいたしません。
3. 教育研修講演のみを受講される方も学会参加受付が必要です。
4. 2015年(平成27年)1月1日より、日本整形外科学会教育研修講演における単位取得が完全デジタル化されております。教育研修講演の単位取得にあたっては、会員QRコードが必要になりますので、必ずご持参ください。
5. 本会は現金決済のみとなります。クレジット機能はご使用いただけませんので、ご了承ください。
6. 単位の必須分野番号を受講当日に選択することはできません。後日、日本整形外科学会会員専用ページ内の「単位振替システム」を利用して、ご自身でご希望の必須分野番号への振り替えをお願いいたします。

日本整形外科学会教育研修単位一覧

日時	会場	セッション名	演者名	演題名	日本整形外科学会		
					必須分野	専門医単位	
10月25日 (金)	8:40~ 9:40	第2会場	教育研修 講演3	萩原 祐介	坐骨神経痛・腰痛は足首テーピングでよくなる	8	SS
				金 景成	殿皮神経障害による腰痛	8	SS
	10:20~ 11:20	第1会場	教育研修 講演1	高相 晶士	脊柱変形の治療と腰痛	3, 7	SS
	12:00~ 13:00	第1会場	ランチョン セミナー1	武井 寛	成人脊柱変形の矯正術 -Control CageとExpandable Cageによる腰仙部前弯形成	7	SS
					腰椎後方椎体間固定術におけるわれわれの手技 -ブーメラン型expandable cageの有用性-	7	SS
		第2会場	ランチョン セミナー2	林 寛之	疼痛治療における全身性ジクロフェナクナトリウムテープ の使い処と適正使用のポイント	7	-
					慢性疼痛に対する薬物療法とその課題	7	-
		第5会場	ランチョン セミナー5	宮本 敬	ケージ二刀流 (staticとexpandable) が経験した腰椎側方 進入椎体間固定術 (LLIF) の実際	7	SS
	14:50~ 15:50	第1会場	特別講演2	永友 洋司	FOR ALL~スポーツの力で未来を育てる~	13	Re
	16:00~ 17:00	第1会場	教育研修 講演2	池澤 智	CLEAN BEAUTY ~進化するカラダづくり~	13	Re
				地曳 直子	CLEAN BEAUTY -細胞から整える食事法-	13	Re
	17:10~ 18:10	第2会場	教育研修 講演4	小川 浩一	脊髄損傷を理解する / Understanding Spinal Cord Injury	7, 13	SS
		第1会場	イブニング セミナー1	船山 徹	デバイスの進化と外科医の創意工夫により発展を続ける高 齢骨粗鬆症患者の脊椎手術	4, 7	SS
		第2会場	イブニング セミナー2	宮城 正行	なぜ骨粗鬆症患者は腰が痛くなるのか	4, 7	SS
	第3会場	イブニング セミナー3	高橋 真治	骨粗鬆症性椎体骨折Up-to-date: 現状と課題	4, 7	SS	

日時	会場	セッション名	演者名	演題名	日本整形外科学会		
					必須分野	専門医単位	
10月26日 (土)	8:00~ 9:00	第2会場	モーニング セミナー	稲毛 一秀	腰痛に対する脊髄刺激療法の有効性-真の適応を考える-	7	SS
				松山 大輔	Balloon Kyphoplasty アップデート -災害医療救護での学びを含めて-	7	SS
	9:10~ 10:10	第1会場	教育研修 講演5	成田 崇矢	腰部障害に対する理学療法の選択	7, 13	Re
		第3会場	教育研修 講演11	星野 雅俊	骨粗鬆症と筋肉と腰痛 -腰痛が克服を目指した病態解析と介入研究-	4, 7	SS
	10:50~ 11:50	第2会場	教育研修 講演9	成田 都	骨粗鬆症では何が起きているのか? 腰痛にまつわる基礎研究	1, 4	SS
				圓尾 圭史	前へ進む椎体骨折の治療戦略: 椎体ドミノ骨折と慢性腰痛への挑戦	1, 4	SS
	12:00~ 13:00	第1会場	ランチョン セミナー6	今釜 史郎	腰痛、神経障害性疼痛に対する臨床・疫学研究 ~健康寿命延伸のために~	7	SS
		第2会場	ランチョン セミナー7	江口 和	高齢者腰痛の診断と治療 -ノイトロピンの臨床効果Up to date-	7	SS
		第3会場	ランチョン セミナー8	富永 冬樹	コンドリアーゼの疑問答えます! -コンドリアーゼ椎間板内注治療法の適応と限界-	7	SS
		第4会場	ランチョン セミナー9	西良 浩一	非特異的腰痛を可視化する	7, 13	Re
	黒澤 大輔			解剖とバイオメカニクスに基づいた仙腸関節障害の運動療法	7, 13	Re	
	13:10~ 14:10	第1会場	教育研修 講演6	緒方 徹	神経再生とリハビリテーション医学	8, 13	Re
		第2会場	教育研修 講演10	笠原 論	慢性腰痛とADHD	7	SS
		第3会場	教育研修 講演12	横須賀公章	経仙骨的脊柱管形成術(Trans-sacral Spinal Canal Plasty: TSCP) - 手技、適応、効果 そして今後の可能性 -	7	SS
	17:00~ 18:00	第1会場	教育研修 講演8	本橋 恵美	運動器障害の一次予防としてのモーターコントロールエク ササイズ	7, 13	Re
				大久保 雄	腰痛に対するモーターコントロールアプローチ	7, 13	Re

【専門医取得単位について】 R:リウマチ単位 Re:リハビリテーション単位 S:スポーツ単位 SS:脊椎脊髄病単位

【必須14分野】

- | | |
|---------------------------------------|--|
| [1] 整形外科基礎科学 | [10] 手関節・手疾患 (外傷を含む) |
| [2] 外傷性疾患 (スポーツ障害を含む) | [11] 骨盤・股関節疾患 |
| [3] 小児整形外科疾患 (先天異常、骨系統疾患を含む、ただし外傷を除く) | [12] 膝・足関節・足疾患 |
| [4] 代謝性骨疾患 (骨粗鬆症を含む) | [13] リハビリテーション (理学療法、義肢装具を含む) |
| [5] 骨・軟部腫瘍 | [14-1] 医療安全 |
| [6] リウマチ性疾患、感染症 | [14-2] 感染対策 |
| [7] 脊椎・脊髄疾患 | [14-3] 医療倫理 |
| [8] 神経・筋疾患 (末梢神経麻痺を含む) | [14-4] その他の共通講習 |
| [9] 肩甲帯・肩・肘関節疾患 | [14-5] 医学全般にわたる講演会などで、14-1~14-4 に当てはまらないもの |